

(1)事業の概要等

事業番号	B0102
実施計画事業	
実施計画事業以外の事業	○

令和5年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	防災訓練実施事業					担当部			市民生活部		
	事業期間	昭和63年度以前	～	令和7年度以降		担当課			防災危機管理課			
	小牧市まちづくり推進計画(R1年～R4年)	分野別計画編	基本施策	1	展開方向	2	担当係			防災危機管理係		
	予算区分	一般会計	款	2	項	1	目	13	大	5	中	1
	根拠法令・個別計画	小牧市地域防災計画					事業種別			一般事業		
	目的・成果 (何のために、どのような成果を期待するか)	この訓練は、災害対策基本法、大規模地震対策特別措置法及び小牧市地域防災計画に基づき、大地震の発生による災害を想定し、各種地震対策訓練を実施し、地震対策に対する防災体制の確立を図るとともに、防災思想の普及に資することを目的とする。										
	対象 (何・誰を対象に)	小牧市職員をはじめ、大規模地震が発生した際に災害対応や避難所運営を行う市民、ボランティア及び協定締結事業者等										
	内容・手段 (目的達成のためにどのような事業を実施したか)	<ul style="list-style-type: none"> ●令和4年度の実施内容 大地震が発生した際に迅速な災害対応ができるよう消火訓練、救助訓練、避難所運営訓練等を実施した。また、防災訓練当日に12学区も訓練を同時開催し、無線交信による各地域と災害対策本部の連携体制を確立する訓練を実施した。 実施日:10月30日(日) 参加者:500人 ●直接経費(令和4年度決算) 使用料及び賃借料:1,124千円(資機材) 需用費:490千円 その他:148千円 ●直接経費(令和5年度当初) 使用料及び賃借料:2,100千円(資機材) 需用費:637千円 その他:148千円 										
受益者負担	無											

(2)事業費

		項目	単位等	R1	R2	R3	R4	R5	
直接経費	決算額	財源	一般財源	千円	1,997	314	630	1,761	
		国・県支出金	千円	0	0	0	0		
		その他	千円	0	0	0	0		
		計(A)	千円	1,997	314	630	1,761		
	対前年比	%	—	15.7%	200.6%	279.5%			
	予算額	千円	2,598	2,988	4,980	3,111	2,885		
人件費	正規職員	人	0.15	0.00	0.00	0.18			
	正規職員(平均賃金)	千円	1,123	0	0	1,347			
	その他職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00			
	その他職員(時給×時間)	千円	0	0	0	0			
	計(B)	千円	1,123	0	0	1,347			
事業費合計(C=A+B)		千円	3,120	314	630	3,108			

(3)業績

展開方向における指標の推移		基本施策		1		展開方向		2	
指標名		単位	方向性	基準値	R2	R3	R4	R5	
1	防災訓練への参加者数	人	→	9,383	1,345	1,197	2,187		
2									
3									

指標ほか		単位		R1	R2	R3	R4	R5	
指標	成果指標		目標						
			実績						
	活動指標	防災訓練参加者数	人	目標	1,000	1,000	1,000	500	500
				実績	1,000	0	0	500	
活動指標	防災訓練実施数	回	目標	1	1	1	1	1	
			実績	1	0	0	1		
単 位 あ た り	受益者数(a)		人	1,000	0	0	500		
	受益者あたり事業費 (=C/a)		円	3,119	—	—	6,216		

(4)事業の評価

事業の方向性	維持	事業のボリュームを現状規模で維持すべきもの
	事業の達成状況と課題	<p>令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により3年ぶりに開催した。また、新たな取り組みとして防災訓練当日に市内各小学校区地域協議会も防災訓練を同時開催し、無線交信による災害対策本部との連携訓練等を実施した。この訓練では、消火、救助、避難所運営などを実際に行ったが、災害発生時に迅速に行動するためには訓練を継続して行っていく必要がある。</p>
事業の評価	<p>令和4年度に実施した訓練と同規模の訓練を実施し、訓練参加者については、多くの方に参加してもらうよう呼びかけていく。</p>	
今後の実施内容		
事務事業評価による額	千円	節
	細節	細々節